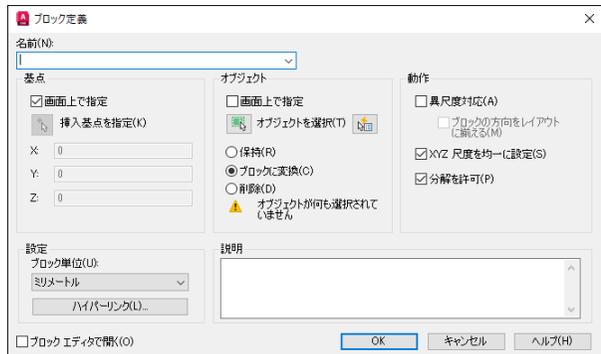


ブロック定義



名前 ブロックの名前を設定します

基点 ブロック挿入時の起点の指定します。

画面上で指定 「OK」クリック後に図面上にて挿入基点を選択します



挿入基点を指定

アイコンをクリックするとダイアログが消えるので、図面上で挿入基点を指定(クリック)します。その後、ダイアログが再表示されます。

X / Y / Z

挿入基点の座標を表示します。直接数値を入力して、挿入基点を指定することも可能です。

オブジェクト オブジェクトの選択と、ブロック作成後の選択したオブジェクトの状態を設定します。

画面上で指定 「OK」クリック後に図面上にてブロック化する図形(オブジェクト)を選択します。



オブジェクトを選択

アイコンをクリックするとダイアログが消えるので、図面上で図形(オブジェクト)を選択します。その後、ダイアログが再表示されます。



アイコンをクリックするとダイアログが消えクイック選択ダイアログが表示されます。クイック選択後の動作は、上に同じです。

保持

ラジオ釦にて、ブロック作成後の選択した図形(オブジェクト)の状態について設定します。

ブロックに変換

・保持：選択図形についてはブロックのインスタンス(ブロック挿入図形、ブロック参照、INSERT)に変換せず元の状態のままとする。

削除

・ブロックに変換：同時に、選択図形についてもブロックのインスタンスに変換する。

・削除：ブロック定義の作成後、選択図形については削除する。

動作 ブロック定義に持たせる動作について設定します。

異尺度対応

異尺度対応ブロックを作成します。

ブロックの方向をレイアウトに揃える

異尺度対応ブロック挿入図形(ブロック参照、INSERT)のレイアウト空間での向きをレイアウトに揃えます。

XYZ 尺度を均一に設定

XYZいずれかの尺度プロパティを変更したときであっても、XYZが同期して同じ尺度になり相似形を保つようにします。

分解を許可

ブロック挿入図形(ブロック参照、INSERT)の、図面上で分解操作を可能にします。

設定

ブロック単位

ブロック定義する図形の作図単位を指定します。(作図単位とは図面上の1ユニットの単位です。詳しくは、[こちら](#)を参照ください。)

ハイパーリンク

ブロック定義のインスタンス(ブロック挿入図形、ブロック参照、INSERT)ハイパーリンクを設定します。

説明

ブロックの説明を記述する欄です。この説明は、「ブロック定義」ダイアグラムの他に「DesignCenter」でも確認することができます。

ブロックエディタで開く

ブロック定義の登録完了後、同ブロックの編集画面(ブロックエディタ)に遷移します。